

2023-24年度 朝岡会長テーマ -みんな 楽しく 仲良く そして未来へ-
第 3120 回例会 令和 5 年 10 月 24 日(火) 天気:晴 No.12

2023-24年度
RIテーマ



世界に希望を生み出そう



会長 / 朝岡 正 幹事 / 松田茂治

クラブ会報委員 金原健志 / 本田正則 / 大内基浩 / 宍戸秀隆

例会日:火曜日 12:30 例会場:西尾コンベンションホール

事務局:西尾市永楽町 3-45 西尾信用金庫中央支店内 204

TEL:0563-54-7770 FAX:0563-54-7050 URL:<https://www.nishio-rotary.org>

【本日のプログラム】

司 会 杉田武男例会運営委員長

斉 唱 「奉仕の理想」

食 事 寿和

スピーカー 愛知県立にしお特別支援学校 教頭 早川 浩史 先生

「にしお特別支援学校の学校概要について」



【会長挨拶】



先日の観月例会はたくさんの方に参加して頂き、本当に楽しい時間となりました。親睦委員会の皆さんのおかげで丸いお月様を会場で見ることができました。ありがとうございました。

本日10月24日はポリオの日です。ポリオ根絶には5つの理由があります。1つ目は生活の向上で、根絶活動のおかげで身体麻痺にならずにすんだ人は2000万人、命を落とすことになかった人は150万人になります。2つ目は未来への投資、ポリオが根絶されなければ今後10年間、毎年20万人の子どもが身体麻痺になる可能性があります。ポリオの根絶はすべての子どものために健康な社会を作ることです。

3つ目は子どもの健康の向上。4つ目は医療費の削減。2050年までに140億ドルを節約できるとされています。5つ目は歴史を作る。ポリオが根絶されれば、天然痘に続いて2番目に根絶された疾病となります。歴史上で最も偉大な公共保健での達成の1つになります。

今日はロータリーの歴史として、ロータリーがどうやって始まったかをお話します。ロータリーの先駆者は4人います。1905年2月23日、ポール・ハリスによって結成されました。ロータリーという名前は、会員の仕事場を持ち回って会合を開いていた習慣に由来しています。1921年までに6大陸にロータリークラブが結成され、その1年後に国際ロータリーと名付けられました。

【委員会報告】

〈出席委員会〉本多 淳委員長

本日の出席数 53名

欠席数 14名

出席率 79.1%

〈スマイルボックス委員会〉角谷和行親睦委員 ／外山晃久親睦委員

朝岡 正君 観月例会に多数の参加ありがとうございました。大変楽しい一時を過ごしました。

早川教頭先生、今日は宜しくお願ひします。

松田茂治君 観月例会で多くのご参加ありがとうございました。親睦委員の皆さん設営ご苦労様でした。

早川浩史教頭先生、ようこそ西尾RCへ。特別支援学校のお話楽しみにしています。

小澤育史君 65周年記念誌が出来上がりました。有難うございました。

三浦康彦君 お待たせしましたが、65周年記念誌が昨日完成しました。良い写真が多く載りました。感謝です。

吉崎和浩君 後ほどご案内させていただきますが、11/4(土)・5(日)の2日間にししん創立110周年感謝イベントを開催致しますので、皆様家族総出でご来場いただきます様ぜひぜひ宜しくお願い致します。

田中正規君 ヤンゴン(ミャンマー)より帰国しました。人口500万人の大都市です。屋台のお店も多く、若者が道にあふれていました。車も6車線をあふれて走っていました。ほとんどトヨタの中古車です。軍政で観光客は少ないですが、思ったほどではなく安全で気楽な旅でした。

榊原茂太郎君 先日の観月例会にご参加いただきました会員の皆様、有難うございました。心からお礼申し上げます。

杉浦義浩君 月見例会とても楽しかったです。委員長手作りの満月も美しかったです。有難うございました。

山崎周彌君 気持ちの良い秋です。例会も久し振りですね。先日は親睦委員の皆さんのお陰で、蒲郡クラシックで楽しい例会でした。

浅岡直幸君 にしお特別支援学校 教頭 早川先生、ようこそ西尾ロータリーへ。12/14の事業ではお世話になります。

外山晃久君 本日スマイル代行させて頂きました。感謝申し上げます。

本多 淳君 新聞に載りました。

平岩博行君 結婚記念日のお花を頂きました。有難うございます。

角谷和行君 私事ではありますが、9/28に初孫が生まれました。有難うございました。

天野 卓君 娘がママになりました。自動的に我々はジジ、ババになりました。



〔卓話〕

愛知県立にしお特別支援学校 教頭 早川 浩史 先生 「にしお特別支援学校の学校概要について」



昨年度に開校した本校は知的障がいのあるお子さんと肢体に不自由のあるお子さんの両方が通う、愛知県では初めての学校です。愛知県は障がい種別で運営している学校がほとんどですが、全国を見ると障がいの種を超えて、色々な障がいを持っている方が一緒になって支援学校を作っていく流れがあり、愛知県でも昨年4月に初めて設立されました。本校の廊下は大変広く、車椅子がすれ違える広さになっています。昇降口からすべてフルフラットのバリアフリー構造です。普段は知的障がいの生徒と肢体不自由の生徒は教室が分かれて授業を受けますが、敷地の真ん中にあるふれあいホールで一緒に行事や集会もしています。教室はパーテーションで仕切れるようになっていて、隣の教室と一緒に学習したり、分けて学習したり、場面によって使い分けができる構造になっています。メディアセンターと呼ばれる図書館は開校当初より少しずつ本が増えてきていますが、まだまだ本棚はスカスカです。体育館は冷暖房完備で、他の学校とは違い、かなりステージが低くなっており、両サイドがスロープになっています。一般の学校のようにステージ下にパイプ椅子を入れることはできませんが、子どもたちが入学式などでステージに上がることができる使いやすい体育館です。車椅子のお子さんが車椅子のまま入れる室内プールもあります。なかなか体を動かす経験が出来ないお子さんたちが使える温水プールになっています。

本校は小学部1年生から高等部3年生までのお子さんたちが来ています。訪問教育も実施しています。色々な事情で学校に通えないお子さんもいますので、自宅に職員を派遣して学習する教育もしており、今は3名在籍しています。肢体不自由のお子さんには医療的ケアが必要な方もいるので、看護師も常駐して頂いています。本校の校訓は「かがやく笑顔 つながる人の輪 ひろがる可能性」です。目指す児童・生徒像として、小学部は「自分や友達の良さに気づいて自分らしく楽しく活動できる子」を育てたいと思っています。中学部では「自分や友達の良さを積極的に見つけ、お互いを大切にして関わることができる子」になると良いと思ひ話をしています。高等部は「友達の気持ちを大切に、お互い支え合い、高め合うことのできる生徒」です。障がい者は本当に色々ですが、お互いに関わって、楽しんで、支え合う子どもたちになれると良いと小中高と力を合わせて学習に取り組んでいます。現在の生徒数は全体で271名です。開校した当時は250名でした。知的障がいのお子さんの人数が多く、肢体不自由の方たちは3分の1程度の人数構成です。職員は看護師等の職種も含めて172名で指導をしています。一般の学校では無い学習単元も多く、日常生活(着替え等)や体験学習(買い物等)、作業学習(仕事作業の経験等)なども実施しています。肢体不自由の生徒の中には、学習には問題なく大学受験を目指している生徒も一部います。そのため教科学習も取り入れています。昨年の初めての卒業生は、一般就職は少なく2名、主に福祉事業所に通う方が多いですが、就労継続支援に通っている方もいます。高等部では実習先や就職先もまだまだ探しています。そういったご協力を頂ける場合は本校へご連絡をいただけますと大変助かります。実習で見て頂いて、上手くいけば雇用して頂けると子どもたちも良い人生が広がっていくと思っています。そうなるためにも、我々も一生懸命働ける子どもたちを育てていきたいという思いです。

12月14日にロータリークラブの皆様と本校の児童生徒と交流会をやらせて頂ければと思っています。午前中のお忙しい時間ですが、お時間がありましたらご参加いただけますと幸いです。

